



新座志木中央総合病院広報誌 新座・志木・朝霞・和光の4市を主な診療圏とし、地域の皆さまの健康を共に考えていきます。

- 新年のご挨拶 ●人工関節・リウマチセンターのご案内
- 臨床工学科の紹介 ●地域の先生方のご紹介
- 認定看護師とは ●マンモグラフィ施設認定
- 第1回 開放型病院登録医症例検討会が開催されました。
- 栄養科のヘルシーレシピ～風邪を知ろう!～
- 病院からのお願い ●お見舞いメールが送れます。

Vol.6

2008年 1月号



新座志木中央総合病院

〒352-0001 埼玉県新座市東北1-7-2
TEL. 048-474-7211(代)
FAX. 048-472-7581
ホームページ <http://www.niizashiki-hp.jp>
Eメール webmaster@niizashiki-hp.jp

新年のご挨拶



新座志木中央総合病院 院長 吉田 紘一

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかで佳き新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年、本院は創立40年の節目を迎えました。これも病院を支えて頂きました地域の皆様を始め、職員、TMG本部の方々によるものと感謝申し上げます。

昨今の医療事情は大変に厳しい環境に晒されて医療崩壊が叫ばれています。その中、5月には新病棟を完成させ327床フルオープン致しました。稼働率は大丈夫か、職員は集まるか等の心配の中の門出でしたが地域の皆様の御援助や職員の努力により新しい年を無事迎える事が出来ました。病院長として心から感謝致します。

今年は今までの歴史の重みを感じながら、新たなる出発の年にしなければ成らないと考えております。それには医療の新たなる進歩に対応出来る機器の導入、職員の教育に力を入れ、地域の皆様に満足頂ける医療を確立し、更に福祉を通して地域社会に貢献したいと思っています。今年も御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。



人工関節・リウマチセンターのご案内

センター長・副院長 林 淳慈

人口の高齢化に伴い、関節疾患（変形性関節症、関節リウマチなど）でお困りの患者様は、増加の一途をたどっております。当センターでは、このような関節疾患に対してより専門的な立場から診断、治療（投薬、手術）、合併症対策、リハビリテーション、経過観察等を患者様に提供し、安心して治療に専念していただくことを目的としております。

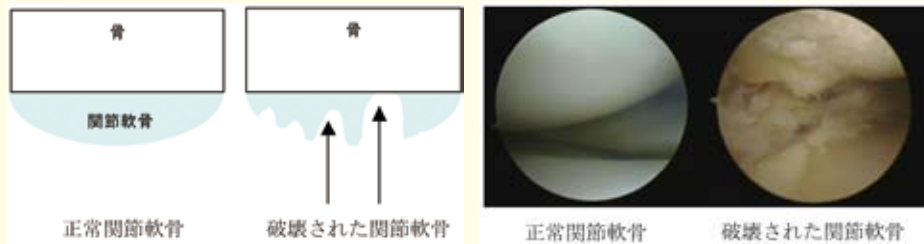
関節は、通常、関節軟骨により覆われています。この関節軟骨には、血管や神経が存在せず、また非常に摩擦係数が低い、すなわち、関節軟骨が健康で正常であれば、関節はよく動き、炎症も起こさず、痛みもありません。しかし、いろいろな原因でこの関節軟骨が、磨り減ってしまったり、破壊されてしまうと関節の動きが悪くなったり、激しい疼痛が発生します。代表的な疾患は、以下の二つですが、他にも多くの原因で関節軟骨の変性、破壊は引き起こされます。

1. 変形性関節症

関節軟骨の一部に大きな力が加わった結果、その部分の関節軟骨が磨り減ってしまった状態です。初期は、生活習慣の改善、関節を支持する筋力の強化、消炎鎮痛剤の服用、ヒアルロン酸の関節内注入等により疼痛は軽減します。しかし、進行した場合には関節に加わる負荷を骨の形を変えることにより軽減させる骨切り術や関節そのものを機械で置き換える人工関節置換術を行うことがあります。

2. 関節リウマチ

本来、関節軟骨を栄養する関節液を作っている滑膜細胞が、どんどん増殖し関節軟骨を圧迫し、関節軟骨を破壊する物質を作ってしまう病気を関節リウマチといいます。関節リウマチは、数箇所の関節に炎症を起こし、関節の腫れや痛みを発生させます。治療は、まず、抗リウマチ薬の服用です。内服薬でコントロールがつかない場合には、生物学的製剤という注射薬があります。これは、先ほどの関節軟骨を破壊する物質を直接ブロックするために、優れた効果が認められます。しかし、このお薬を使用しても効果のない場合やすでに破壊された関節が、日常生活の質を著しく低下させる場合には、手術療法が適応となります。手術は、初期には滑膜切除術を行い、進行した関節には人工関節置換術や関節固定術を施行します。



それでは、代表的な外科的治療法である人工関節置換術とはどのようなものかをご説明いたします。

原理は、虫歯の治療と同じようなものであり、関節表面の軟骨のなくなってしまった部分を削ってしまい、表面に金属を被せるわけです。しかし、虫歯と違うところは、関節は動くところなので、金属と金属の間に通常はポリエチレンというクッションを置きます。すなわち、金属と金属の間にポリエチレンというクッションがあり、関節の動きを再現するという仕組みです。

人工膝関節



人工股関節



【外来診療表】

	診療時間	月	火	土
午前	9:00~12:00 (受付8:30より)	—	—	人工関節・ リウマチ外来
午後	14:00~17:00 (受付13:00より)	人工関節・ リウマチ外来	人工関節・ リウマチ外来	—

◆予約外来となっておりますので、初診の方は新座志木中央総合病院(048-474-7211) 整形外科外来(内線318)まで、お問い合わせください。

臨床工学技科の紹介

臨床工学技士とは

1987年5月に制定された「臨床工学技士法※」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格です。(※公布 昭和62年6月2日、施行 昭和63年4月1日)

臨床工学技士の業務内容とは

臨床工学技士は医療機器の専門医療職であり、病院内で、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。また、医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に日々努力しています。

臨床工学技士の代表的な業務の一例は次のとおりです。



血液浄化療法での業務

体内に貯まった老廃物などを排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合に、血液透析療法、血液濾過療法、血漿交換療法、血液吸着法などの血液浄化装置の操作や点検を行っています



手術室での業務

手術室には、大きな機器や小さな機器が数多く置いてあります。手術が安全に行われるために、そのような広範な医療機器の操作や事前の管理が重要になります。特に心臓手術の際、心臓や肺に代わる働きをする体外循環装置(人工心肺)など多いときには数十台もの機器が同時に使われます。その際の機器の操作や使用前の点検などの仕事を臨床工学技士が受け持ちます。



集中治療室での業務

集中治療室とは心臓や頭などの手術をした後の患者さんや、呼吸・循環・代謝などの機能が急に悪くなり、命に関わる患者さんを収容して集中的に治療するところです。ここでは、人工呼吸器や心臓が正しく動くのを助けるペースメーカーや除細動器などの生命維持管理装置の操作や点検を行います。



高気圧酸素療法での業務

高い気圧の下で酸素を吸入させることで、血液中の酸素を増やすのが高気圧酸素療法で、様々な疾患の治療に用いられます。これらの呼吸に関わる医療機器の操作や点検などを行います。



温熱療法室での業務

当院では、山本ビニターのサーモトロンRF8を使用しています。RF8の特徴としては、温度傾斜がなく一様に加温ができ、温度の昇降が迅速かつ正確にできます。また電極の配置によって選択的な加温が可能となります。



心臓カテーテルでの業務

心臓カテーテルの検査や治療において生体情報の監視や記録を行っており、IABP(補助人工心臓)やPCPS(補助循環装置)、ペースメーカー等の操作や管理を行っています。



医療機器管理での業務

生命維持管理装置に携わる臨床工学技士は、手術室、人工透析室、集中治療室、高気圧酸素治療室など、医療施設の様々な分野で活動しています。これらにある医療機器の操作や、安全で性能が維持できるように保守・点検を行い、また集中管理をすることにより効率的で適切な運用ができるようにしています。

当院の臨床工学技士は8名おり、各セクションに臨機応変に対応出来るオールマイティーな技士の育成と、チーム医療の向上と安全に安心して医療機器が使用出来る現場の確保を目指し医療事故防止に努力していきたいと思っております。

新座志木中央総合病院 臨床工学科 渡辺仁志

地域の先生方のご紹介

柳瀬川駅前クリニック

当クリニックは平成17年11月、柳瀬川駅西口前に開業致しました。

駅前のビル、ペアクレセントの3階にクリニックがあり、非常にアクセスの良いところです。

診療の特色としては、患者さんとの会話を重視した診療や治療に対するわかりやすい説明と対応を大切にしています。地域住民に信頼される医療を提供することを目標とし、患者さんの快適な療養生活をサポートします。また当院では、電子カルテ及び画像ファイリングシステムを導入しており、診断内容をわかりやすく、親切、丁寧にご説明致します。さらにレントゲン、心エコー、腹部エコー、心電計、肺機能、骨塩定量等、最新の医療設備を完備しておりますので、どんな小さな体の不調でも、お気軽に当院でご相談下さい。



柳瀬川駅前クリニック

〒353-0006

志木市館2-6-11ペアクレセント3F

TEL:048-486-6201

FAX:048-486-6203

URL:<http://www.myclinic.ne.jp/kazuhimi/pc/>

院長:氷見 和久

副院長:氷見 園子

診療科目:内科・循環器科・呼吸器科

診療日:

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	×	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

受付時間:午前 9:00~12:30

:午後 2:30~ 6:00

休診日:日曜日・祝日・木曜日/土曜日午後



【認定看護師とは】

日本看護協会認定看護師制度は、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。その認定分野には、現在17の分野が特定されており、通常6ヶ月以上の教育を経て、日本看護協会看護師認定審査に合格し、特定の分野において熟練した看護技術と知識を有することを認められたものをいいます。認定看護師のレベル保持のために認定更新制が設けられており、日本看護協会の認定を受けた認定看護師は認定を受けてから5年毎に更新審査を受けることが義務付けられています。

【看護部長 加賀谷 一恵】

医療や看護の高度化に伴い、当院でもより専門的で水準の高い知識や技術を持った看護スペシャリストが必要とされています。今現在、3名の認定看護師がそれぞれの能力を活かし、患者様のために活躍しております。今後更に当院の機能に応じた分野の認定者を育成していく予定です。専門的知識・技術を基にした安心と信頼の看護が提供でき、『選ばれる看護部』となるよう成長していきたいと思っております。



【津畑 亜紀子】皮膚・排泄ケア認定看護師(2002年取得)

認定看護師となって5年が経過し、今年初回の更新審査を受けました。褥瘡管理者として勤務し、褥瘡ハイリスク加算を算定しています。ストーマ外来、失禁外来での直接ケアを行っています。院内研修で褥瘡、失禁ケアの講義を行ったり、病棟からのコンサルテーションに応じたりしながら、看護の質の向上を目指し日々頑張っております。また、日本看護協会、埼玉県立大学などの皮膚排泄ケア認定看護師教育施設からの研修を受け入れ、後輩育成にも力を注いでおります。



【鈴木 恵理】皮膚・排泄ケア認定看護師(2007年取得)

皮膚・排泄ケアとは、患者様の生活に密着した身近なものです。主な活動としては、ストーマ・創傷・失禁ケアです。単なる傷の手当てだけでなく、健やかな皮膚を保てるように予防ケアを行いたいと考えています。皮膚を健やかに保つことは、見た目の美しさだけでなく、細菌の侵入や紫外線などの刺激を身体から防御することにもつながります。また、失禁ケアにおいては、尿失禁により日常生活に支障を来すということがあります。このような悩みを皆さんと一緒に考え、解決し、皆さんに一番近い場所で寄り添って行きたいと考えています。よろしくお願ひします。



【渡辺 千亜紀】緩和ケア認定看護師(2007年取得)

現在、私は病棟勤務をしながら緩和ケアの活動をしています。主な活動は病気によって起きている苦痛な身体症状の緩和や不安、孤独感など精神的な苦痛の緩和などです。つらい身体症状を緩和するために、医師と協働して薬剤調整を行ったり、患者様と話し合いながら日常生活の工夫を考えたり、患者様のお話をゆっくりうかがう時間を設けたりしながら、心のつらさを和らげる援助を行っています。他にも患者様を支えておられるご家族のご相談に応じたり、患者様やご家族に関わる医療スタッフとの連携や指導なども私の活動です。

「マンモグラフィ施設認定」

放射線科 大西 嘉奈子



当院では、平成19年10月にマンモグラフィ検診精度管理中央委員会が認定する、マンモグラフィ検診施設画像認定を取得致しました。

平成16年に仕様基準を満たした撮影装置への入れ替え、平成18年にマンモグラフィ対応のCR装置の導入など、設備面での充実をはかると共に、読影医師、撮影技師の認定資格を取得致しました。

続いて、申請のための臨床画像の選定を始めましたが、なかなか思うようにはいかず、技師同士で撮影をしあったり、院内でボランティアを募って撮影をしました。同時に、画像処理の条件をメーカーの担当者と相談しながら、調整することを繰り返しました。

準備を始めてから約一年かかりましたが、TMGグループでは初めてとなるCR装置での認定取得となります。

当院では、乳腺外科外来、人間ドックに加えて、市の乳がん検診も行っています。関心が高まり年々受診者が増加しています(平成18年 2,463名、平成19年11月現在 2,785名)。今後も乳がんの早期発見・早期治療に貢献できるよう、質の高い画像を提供するために努力を続けていきたいと思えます。



第1回 開放型病院登録医症例検討会が開催されました。



昨年11月26日(火)、新座市東北コミュニティセンターにおいて第1回開放型病院登録医症例検討会を開催することができました。当日は、登録医の先生方をはじめ、朝霞地区、ならびに東入間医師会の先生方、グループ病院の皆様方のご支援のおかげで多数のご出席を賜りました。



検討会は、呼吸器外科・河野医師、一般内科・山本医師、循環器内科・石井医師の3名によるそれぞれの症例発表があり、活発なディスカッションが展開されました。また、当院の認定看護師によるWOC活動の紹介と非常に内容の濃いものとなりました。検討会終了後は、当院会議室に場所を移しての意見交換会を行い、登録医の先生方との懇親を深めることができました。

【栄養科のヘルシーレシピ】 ～ 風邪を知ろう! ～

体調が変化すると、まず風邪を疑うほど、風邪は私たちにとって身近な病気。1年間に1人あたり5～6回は、風邪にかかっているといわれています。単に「風邪」と呼んでいますが、正確には「風邪症候群」といい、気道の炎症によるさまざまな症状の総称したものです。日常的な病気であるため、たいがい自己診断で、市販の薬を飲んですませることが多いようです。ただ、風邪に似た症状で始まる他の病気もあるので、無理をせず、早めに受診することが大切です。



風邪をひくのは、どうして?

風邪は、①寒さ・暑さなどの温度変化 ②ウイルス ③睡眠 ④栄養といった、4つのファクター(原因)が互いに絡み合って起こります。たとえば、睡眠不足に寒さが重なり、ウイルスに感染して発症するといった具合です。風邪のウイルスには、いろいろな種類と多くの型があります。1回風邪にかかって免疫ができて、また繰り返してかかるのはそのためです。

風邪の予防と治療に

風邪の予防と治療には、何とんでも「休養・睡眠・保温・食事」が大切。生活のリズムに注意しましょう。

- ①規則正しい食事と休息を
食事・睡眠・仕事といった毎日の生活リズムを、なるべく規則正しく守ることが、風邪の予防につながります。
- ②温かくして、早めに寝る
風邪の治療は、安静にして体の回復力を高めるのが基本。特に熱がある時は、できるだけ休養をとります。室温は18～20℃。加湿器で乾燥を防ぎ、時々換気をしましょう。
- ③消化がよく、水分の多いメニューを
風邪をひいたら消化がよく、水分が多く、温かい食品をとるのがおすすめです。

◆みかんのコンポート◆

寒くなる冬が旬のみかん。生で食べることが多いですが、今回は温かいデザートにしてみました。トロツとしてやさしい味です。

- 材料《4個分》
- a { 温州みかん 4個
 - 砂糖 60g
 - 白ワイン・水 各3/4カップ
 - 粒白こしょう 3粒くらい
 - b { はちみつ 大さじ2
 - シナモンスティック 1/2本



作り方

- ①みかんは表皮をむいて白い筋をきれいにとり除く。
- ②みかん4個を並べてきっちり入る大きさの鍋にaを入れて煮立てる。
- ③みかんを加えて再び煮立ったら弱火にし、キッチンペーパーで作った落とし布たをして20分煮る。
- ④bを加えて2～3分煮て火を消す。

みかんの栄養・効能

"みかんにビタミンCが多いことは有名ですが、中くらいのもの1個(120g)に42mg含まれています。成人1日当たりのビタミンC所要量は100mgなので、みかんを1日に2～3個食べれば、それを満たせるのです。ビタミンCはウイルスや細菌の力を弱める効果もあり、風邪の予防、回復にも役立ちます。その他にもみかんには、食物繊維(整腸作用)・クエン酸(疲労回復)・β-クリプトキサンチン(抗がん作用)・ヘスペリジン(動脈硬化予防)など、さまざまな栄養素が含まれています。よくみかんを食べ過ぎると皮膚が黄色くなります。これは柑皮症(かんぴしょう)といってカロチンが多い食品を極端に過食することによっておこる症状ですが、食べるのをやめると自然に治ります。

病院からのお願い

○パソコンの利用について

- ・個室: 利用可
- ・大部屋: 利用不可
- 談話室(テイルーム)での利用はできます。ただし、他の方の迷惑がかからないようお願い致します。
- ・注 意: インターネットの環境は提供しておりません。プリンターなどの周辺機器の使用は禁止とさせていただきます。



📧 お見舞いメール

病院のホームページから、入院患者様へお見舞いメールが送れます。

病院ホームページ <http://www.niizashiki-hp.jp/>
携帯電話サイト <http://www.niizashiki-hp.jp/i/>



新座志木中央総合病院

〒352-0001 埼玉県新座市東北1-7-2
TEL.048-474-7211(代) FAX.048-472-7581

■標榜診療科目(17科)

- 内科、神経内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、肛門科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、麻酔科
- 外来受付時間 午前 8:30～12:00 / 12:30
午後14:00～17:00 / 18:00
受付時間は、曜日・診療科・初診・再診により異なります。
- 外来休診日 日曜、休日・年末年始(12/30 PM～1/3)、診療科により土曜日